

りっとう再発見

旧中島家住宅

かまどめしを炊こう!! 再始動!



▲旧中島家住宅 移築後2代目のかまど 延べ100人ほどの市民で築造

栗東歴史民俗博物館ではしばらくの間休止していた、旧中島家住宅での炊飯体験“かまどめしを炊こう!!”を4月から再開しました。

旧中島家住宅（国登録有形文化財）は博物館敷地内に移築された明治初期の農家の住宅です。炊飯体験に用いるかまどは平成27年に延べ100人ほどの市民の手を借り、半年かけて築造したものです。旧中島家住宅が建てられたころの栗東では、家のかまどは一般的に職人が作るのではなく、その家の住人や近所のかまど作りに長けている人に依頼して作るものでした。旧中島家住宅を移築した当初のかまどもまた、職人ではなくかまど作りに長けた市民と博物館の担当学芸員で作ったものでした。これに倣って平成27年度の再築造の際も、市民の皆さんでかまど作りに取り組んだのです。

栗東の住宅では、瓦葺は一般的ではありませんでした。このような屋根に煙突を設置すると、屋根に火の粉が落ちて火事を起こすかもしれません。煙突がないため煙は家の中で滞留して徐々に外に出ますが、その間住宅内は燻されて害虫が付きにくくなります。



▲旧中島家住宅のかまど

ていると、中央に座れば5つ全ての焚口の火加減を同時にみることができるようになります。土間を広くとれる農家の住宅だからこそ合理的な形状です。

興味深い点がたくさんある旧中島家住宅のかまど。なによりもこのかまどで炊いたごはんは格別においしいと評判です。薪の火の勢いで炊き上げる、つやつや、ほかほかのかまどめし。ぜひ体験してみてください。

（かまどめしを炊こう!!”の応募方法はお知らせ版8頁を参照）



▲旧中島家住宅のかまどで炊き上げたつやつやほかほかのかまどめし

園栗東歴史民俗博物館 TEL554-2733 FAX 554-2755

令和5年度スローガンコンテスト

最優秀賞 思いやり 親が教えて 子が広げ